

単元名 「わかりやすく説明しよう」おすすめの本を紹介する」

一 指導事項

第一学年「A話すこと・聞くこと」

ウ 全体と部分、事実と意見の関係に注意して、話したり聞き取ったりすること。

第一学年「言語事項」

エ 話や文章の中の段落の役割や文や文との接続関係などを考えること。

*新学習指導要領

第一学年「A話すこと・聞くこと」

(1)イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。

二 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語事項
聞き手を意識してスピーチを工夫したり、意見を発表したり、話し合いに参加したりすることができる。	相手に応じて、全体の構成や事実と意見との関係に注意したスピーチを工夫することができる。	内容に適した段落構成や接続語、語句を用い、相手に問いかける文などの工夫をすることができる。

三 単元について

○ 本単元の指導事項として、第一学年 A話すこと・聞くこと ウ「全体と部分、事実と意見の関係に注意して、話したり聞き取ったりすること」、言語事項 エ「話や文章の中の段落の役割や文や文との接続関係などを考えること」が位置づけられる。本単元は、スピーチをする準備の段階として、わかりやすいスピーチに必要な方策を考える活動に取り組む。この活動を通して、全体の構成や事実と意見の関係に注意したスピーチの工夫ができるようになることを考える。

○ 本学級は、男子十六名、女子十六名の計三十二名である。活気にあふれ、意欲的な姿勢で授業に臨んでいる。一学期に、単元「発見したことを伝えよう」で、小学校六年生を想定し、中学校生活の良い点を伝える一分間スピーチを行った。そのとき目指したのは、話題の材料を集め整理すること、構成を意識して伝えることであった。しかし、事実だけ伝えるなど話題の焦点が絞りにくく、相手にわかりやすく伝える工夫ができなかったと感想を述べた生徒がいた。また、本校では二学期より朝読書の時間が設けられ、読書に親しむ環境が整いつつある。しかし、読書の経験が乏しく、どの本を読めばいいのか分からないと感じている生徒もいる。よって、友人におすすめの本を紹介する本単元を設定することは時宜にかなっている。

○ 本単元では、わかりやすいスピーチをするために、文章の構成や話し方の工夫に学習のねらいを定める。指導にあたっては、まず、「おすすめの本を紹介しよう」というテーマを設定し、情報を集める。次に、構成を意識してスピーチ文を書かせる。そして、課題のあるスピーチ文と工夫されたスピーチ文を比較させ、工夫点について話し合わせる。わかりやすいスピーチには、構成、事実と意見の書き分け、接続語が必要であると気づかせ、自分のスピーチ文を手直しさせる。その後、スピーチ文を清書し、話し方の工夫をメモさせる。最後に、スピーチ発表会を行い、わかりやすい本の紹介ができたか振り返らせる。

四 単元の指導計画・評価計画（全6時間）

指導事項 第一学年「A 話すこと・聞くこと」 ウ 全体と部分、事実と意見の関係に注意して、話したり聞き取ったりすること。
「言語事項」 エ 話や文章の中の段落の役割や文や文との接続関係などを考えること。

単元の評価規準 ○聞き手を意識してスピーチを工夫したり、意見を発表したり、話し合いに参加したりすることができる。（関心・意欲・態度）
○相手に応じて、全体の構成や事実と意見との関係に注意したスピーチを工夫することができる。（話す・聞く能力）
○内容に適した段落構成や接続語、語句を用い、相手に問いかける文などの工夫をすることができる。（言語事項）

配時	具体的評価規準 (評価の方法)	学習活動(言語活動)	指導上の留意点	(関心・意欲・態度)	(話す・聞く、書く、読む、知識・知能・技能)	
					おおむね満足できる状況【B】	十分満足できる状況【A】
1	話：本を紹介するスピーチにはどんな内容が必要か具体的に述べるができる。〈ワークシート分析〉 関：スピーチのテーマに必要な内容に対して具体的な意見を発表している。〈発表チェック〉	1 学習のねらいや流れを確認する。 2 本を紹介するスピーチに必要な内容を考えさせる。	○課題のあるスピーチを提示し、どんな内容が必要かについて考えさせる。 ○紹介する本や参考になる資料を持ってくるように伝える。	○おすすめする本を紹介するために必要な内容をあげようとしている。	・わかりにくい点や本を紹介するスピーチに必要な内容を挙げている。 ☆Cの状況の生徒への手だて スピーチ文に必要な内容を記したヒントカード①を提示する。	・具体的な内容を例示しながら、わかりづらい点や本を紹介するスピーチに必要な内容を挙げている。
2	書：項目に応じて必要な情報や考えを書き表すことができる。〈ワークシート分析〉 書：情報や考えをスピーチ原稿に取り入れ、テーマに合ったスピーチ文を書いている。〈スピーチ原稿分析〉	3 取り上げる本の情報を整理し、感想やおすすめする理由をまとめる。 4 「おすすめの本を紹介する」というテーマで、スピーチ文を書く。	○本のタイトル、作者、おすすめする理由、印象に残った場面や文、どんな人にすすめたか、感想を整理させる。 ○「おすすめの本を紹介しよう」というテーマで、スピーチ文を書かせる。	○おすすめの本に必要な情報を集め、自分の感想を書こうとしている。	・おすすめの本を紹介するために必要な情報や考えを入れて、構成を意識してスピーチ文を書いている。 ☆Cの状況の生徒への手だて ヒントカード②を提示し、スピーチ文に必要な情報や考えがあるか確認させる。	・おすすめの本を紹介するために必要な情報や考えを入れて、構成、事実と意見の書き分け、接続詞を意識してスピーチ文を書いている。
本時	話：スピーチ文の工夫点を見つけ、書き出すことができる。〈様相チェック〉 話：スピーチ文に工夫を加えることができる。〈スピーチ原稿分析〉	5 スピーチ文を書くときに、気をつける項目を確認する。 6 スピーチ文の工夫を発表する。	○前時に書いたスピーチ原稿を一枚取り上げ、構成、事実と意見の書き分け、接続詞など、どんなふう工夫されているかを見つけさせる。 ○班で意見を付箋紙に書き出し、画用紙に貼らせる。 ○自分のスピーチ文の課題を見つけ、原稿の手直しをさせる。	○スピーチ文の工夫点を見つけようとしている。	・スピーチ文の工夫点に気づいている。 ☆Cの状況の生徒への手だて 付箋紙に書き出した内容を理解しているかどうか個別指導する。	・スピーチ文の工夫点に気づき、付箋紙に書き出すことができる。
1	話：問いかける文など内容にあった話し方の工夫をしている。〈スピーチ原稿〉	7 スピーチ文を清書する。 8 スピーチの練習をする。	○前時に手直したスピーチ文を清書させる。 ○内容にあった話し方の工夫を原稿に書き込み、スピーチの練習をさせる。	○スピーチの内容にあった話し方でスピーチをしようとしている。	・スピーチ文に話し方のメモを書き込んでいる。 ☆Cの状況の生徒への手だて 班員のスピーチを聞かせ、工夫できる点に気づかせる。	・スピーチ文に話し方のメモを書き込み、メモを反映したスピーチを練習している。
1	話：わかりやすいスピーチをするためには、伝え方の工夫が必要であることを理解している。〈自己評価分析〉	9 スピーチ発表会を行う。 10 学習をふりかえり、まとめをする。	○工夫した点を意識させながら、スピーチ文を話したり、聞いたりさせる。	○理由を挙げて、どの本に興味を持ったか書き表そうとしている。	・わかりやすいスピーチには構成、事実と意見の書き分け、接続詞が必要であることを理解している。 ☆Cの状況の生徒への手だて ヒントカードの中から、自分がした工夫を書かせる。	・わかりやすいスピーチには構成、事実と意見の書き分け、接続詞が必要であることを理解し、日常生活につなげて考えている。

- 1 本時の具体の評価規準・評価方法
 スピーチ文の工夫点を見つけ、書き出すことができる。(ワークシート分析)
 スピーチ文に工夫を加えることができる。(スピーチ原稿)

2 資料等

- ①黒板掲示資料 ②ワークシート ③付箋紙 ④画用紙 ⑤スピーチ原稿 ⑥清書用紙

3 本時の指導計画・評価計画

過程	学習活動・内容 主な言語活動	指導上の留意点	資料	A の状況・B の状況 C の状況の生徒への手だて	形態	時間
導入	一 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 めあて わかりやすいスピーチについて考えよう。	○ 本時のめあてを確認させる。			一斉	5
展開	二 課題のあるスピーチ文(教師作)と工夫されたスピーチ文(生徒作)を読み比べ、工夫点を考える。	○ 二つのスピーチ文を比較できるように、黒板に並べて掲示する。 ○ 黒板に掲示した二つのスピーチ文を印刷したワークシートを配布し、工夫点を指摘させる。 ○ 班で話し合いながら、付箋紙に意見を書き出させ、画用紙に貼らせる。 ○ 気づいた工夫点はワークシートに書き込ませる。 ○ 班で検討した意見を全体に発表させる。 ○ 構成、事実と意見の書き分け、接続詞に気づかせるために、生徒の意見をまとめながら、黒板上のスピーチ文に書き込ませる。	① ② ③ ④	A 構成、事実と意見の書き分け、接続詞などの工夫点を付箋紙に書き出すことができる。 B スピーチ文の工夫点に気づいている。 C 付箋紙に書き出した内容を理解しているかどうか個別指導する。	班	15
まとめ	三 意見を発表する。 四 自分のスピーチ文の課題を見つけ、原稿の手直しをする。 五 本時のまとめをし、次時の予告をする。	○ ワークシートを見ながら、原稿を手直しするよう指示する。 ○ 書き込みが終わった生徒には、清書するよう指示をする。 ○ 自己評価をさせる。	② ⑥ ⑤		一斉	10
					一斉	5
					一斉	15

わかりやすく説明しよう。おすすめの本を紹介する。

1年 組 番 氏名

ふたつのスピーチ文を読みくらべ、Aさんのスピーチ文のよいところを考えよう。

Aさんのスピーチ文

みなさんは、いきなり治らない病気になったらどうしますか。この本は精一杯生きようと思う人におすすめする石田衣良の「美丘」です。

この本は、突然太一くんという男の前に現れた問題児・美丘とのラブストーリーです。でも、美丘は治らない病気になっていて、その日々を精一杯生きようとしていました。しかし、病気は進んでいく一方です。美丘は家族や太一くんや友だちに、「ありがとう」といって亡くなってしまう。

私は美丘が病気と一生懸命に闘い生きていることに感動しました。だから、くじけそうになっているときに読むといいんじゃないかと思いました。

みなさんも、美丘の姿に感動したい、精一杯生きてみようと思いませんか。この本はそれを感じるおすすめの本です。

みなさんもぜひ、読んでみてください。

考え直すスピーチ文

みなさんもぜひ、読んでみてください。

この本は、突然太一くんという男の前に現れた問題児・美丘とのラブストーリーです。美丘は治らない病気になっていて、その日々を精一杯生きようとしていました。病気は進んでいく一方です。美丘は家族や太一くんや友だちに、「ありがとう」といって亡くなってしまう。

みなさんは、いきなり治らない病気になったらどうしますか。この本は精一杯生きようと思う人におすすめする石田衣良の「美丘」です。

☆Aさんのスピーチ文のよいところを書いてみよう。

授業の最後に自己評価をしよう。(◎ ○ △)

- ①スピーチ文のよいところを見つけることができた。()
- ②班の中で積極的に意見を述べることができた。()
- ③スピーチ文に必要な内容や工夫が分かった。()
- ④工夫を生かして、自分のスピーチ文を手直しすることができた。()

ヒントカード

ヒントカード①

- ・本の題名
- ・作者
- ・おすすめする理由

ヒントカード②

- ・本の題名
- ・作者
- ・読んだきっかけ
- ・おすすめする理由
- ・印象に残った場面
- ・感想
- ・どんな人にすすめたいか

ヒントカード③

- ・強く読むところ
- ・ゆっくり読むところ
- ・間の取り方
- ・言葉の調子

わかりやすく説明しよう！おすすめの本を紹介する！ 自己評価

1年 組 番号 氏名

☆学習をふり返って、自己評価をしよう。

(A よくできた B できた C あまりできなかった D できなかった)

項目	評価
1	A B C D
2	A B C D
3	A B C D
4	A B C D
5	A B C D
6	A B C D
7	A B C D

☆スピーチを聞いて、この本を「読んでみたい」と思いましたか。その理由もあわせて書いてみよう。

☆今回の学習で学んだことを書いてみよう。

☆学習をふり返って、感想を書いてみよう。